



# すぎなみ 教育報



No.211

平成25年12月11日

すぎなみの教育情報発信中!

教育委員会ホームページ

<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

発行

杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 3312-2111 FAX 5307-0692

中学生海外留学事業

## Set Sail and Take Wind of the Future!



# 出航! ~未来の風をとらえて~

次世代を担う子どもたちのための「杉並区次世代育成基金」を活用し、杉並区と友好都市であるオーストラリア連邦ウィロビー市との中学生海外留学事業を10月に12泊13日を実施し、15名の中学生が参加しました。

## 学習プログラム



オーストラリア到着後、現地校での体験入学やマッコーリー大学の見学をしました。また、タロンガ動物園やシドニー水族館で現地固有の生態を学び、世界遺産であるブルーマウンテンズでは、オーストラリアの大自然を肌で感じてきました。



私は、セント・パイアス 10 世カレッジで 2 日間の体験授業を受けました。周りには日本語が無く、いつもの日常とは異なる、別の世界にいるようで不思議な感覚でした。この経験をこれからの生活に生かそうと思います。  
(大宮中3年 吐田 虹作)



アボリジニ史跡博物館を見学して、アボリジニの人々が迎ってきた歴史を知りました。鮮やかな装飾品や民族楽器、狩猟や祭事に使う道具ブーメランなどが印象的でした。この文化を未来へ残して欲しいと思いました。  
(井荻中3年 海谷 尊実)

## ホームステイ



ウィロビー市の一般家庭に 8 日間お世話になり、オーストラリアの日常生活や文化に触れてきました。



ホストファミリーと過ごした時間は本当に楽しく、英語はもちろん、文化の違いなど多くの事を学んできました。ホームステイでは期待をはるかに超える良い経験ができました。これからも交流を続けていきたいです。  
(和泉中3年 中川 綾乃)



## 参加生徒の声



今回の留学の目的は、自分の将来の夢に近づくために、「国際的な視野を身につける」ことでした。また、留学を通して、自分が変わったと思えるようになりたいと考えていました。事前学習の中で、少しずつ成長している自分を実感し、留学に臨むことができました。現地では、英語を恐れずに使うこと、様々な決断、協力、感謝など、ひとつひとつの思いを大事にして行動するようになったと思います。  
(西宮中3年 内田 万遊)

オーストラリアでは、講演や班行動、ホームステイなど多くの体験をし、現地の方々と触れ合いました。日本には学べない多くのことを学習できました。オーストラリアの良いところ、現地の生活を体験して学んだ日本の良いところを学校の友達に伝えていきたいです。  
(宮前中3年 小寺 絢子)



## 中学生海外留学を終えて

参加生徒 15 名は、オーストラリア人講師による事前学習会などを通して、現在の自分自身にそれぞれが課題を設定し、この海外留学に臨みました。オーストラリアという言葉や文化が異なる地で、海外における生活や現地の人々との交流など、日頃味わうことのできない体験をすることができました。

今後は、全3回の事後学習会などを通じて、留学での学びを深め、これからの生活に生かしていきます。また、学習の成果を多くの方々に伝えていくため、1月に報告会を開催します。

※杉並区教育委員会ホームページ「教育のひろば」に、中学生海外留学の様子を掲載していますので、ご覧ください。

## 「杉並区次世代育成基金」 活用事業成果報告会



区では、次世代育成基金を活用し、子どもたちが夢を育み、夢に向かって成長できるように、支援しています。

報告会では、「海外留学」と7月に実施した「小笠原自然体験交流」の学習成果を発表します。子どもたちが活躍した様子や成長した姿を見られる機会となりますので、ぜひご来場ください。

【日時】1月25日(土) 午前10時から12時まで

【会場】座・高円寺(高円寺北2-1-2)

【内容】小笠原派遣生・海外留学生による学習発表など

問合せ: 済美教育センター

# いじめのない学校づくりを目指して

教育委員会では、児童・生徒が安心して充実した学校生活を送れるような学校づくりをすすめています。いじめの問題に対しては、児童・生徒、保護者、地域の方々、行政が共に認識を深め、それぞれの立場から、解決または未然防止ができるよう連携・協力しながら取組を実施しています。今年度は具体的に次のような取組を行っています。

## いじめをなくすために ～生徒会の取組～

8月4日に、区立全中学校の生徒会が、セシオン杉並で「杉並中学生生徒会サミット」を開催しました。会場に集まった学校関係者や保護者、区民など550名を超える方々に、各学校での取組やいじめに対する思いを伝えました。

9月からは、中学生が小学校を訪問し、生徒会サミットの成果や各校での取組を小学生に直接、語りかけてきました。ある中学校での、相手を傷つける「刺し言葉」を使わない活動を紹介したところ、小学生同士が刺し言葉を使わないように注意し合う場面が増え、友達を尊重する意識が高まりました。

杉並区では、このような生徒会の自主的・実践的な活動が、小学校に広がり、小中学校が連携して、すべての学校での「いじめをなくす取組」につながっています。

また、高円寺中学校生徒会生徒が、区を代表して、文部科学省主催の「全国生徒会サミット」に参加しました。全国43校の生徒会代表と一緒に、寝食を共にしながら、いじめのない学校づくりを目指して議論を重ねました。最終日には、グループで議論した内容や今後の取組等を下村博文文部科学大臣に報告し、代表としての役割を立派に果たしました。



いじめについてのグループワーク (全国生徒会サミット)

参加  
募集

## 教育シンポジウム 「私たちがすること」

いじめをなくすための子どもたちの行動を区民全体に広げていくために、教育シンポジウムを開催します。保護者・地域の大人・教職員が、子どもたちと共に、いじめをなくすためにすることを話し合う貴重な機会になります。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【日時】 12月21日(土) 午後1時30分～4時(開場：午後1時)

【会場】 セシオン杉並ホール(梅里1-22-32)

【内容】 ①取組報告(浜田山小・西宮中)ほか  
②シンポジウム  
③大人へのメッセージ(三屋裕子さん)

【定員】 578名(申込順・参加費無料)

【申込】 学校支援課 ☎03-3312-2111(代表)



## 専門相談員があなたを助けます

### 「いじめ電話レスキュー」 無料電話新設

子どもたちに親身に寄り添い、不安な気持ちを受け止め、子どもが安心していじめの悩みなどを相談できる窓口として「すぎなみ いじめ電話レスキュー」を6月より開設しています。このたび、これまでの番号(有料)に加え、無料電話番号を新設しました。

先生や友達、家族に相談しづらい時など、一人でつらい思いを抱え込まず、専門相談員にご相談ください。

【無料電話】 0120-949-466(新設)

【有料電話】 080-8825-0119

【電話相談】 月～金曜日 午前10時～午後7時(祝日、年末年始を除く)

問合せ: 済美教育センター

# 学校給食の食物アレルギー対応 について

## ～より安全・安心のために～

区立学校においては近年、食物アレルギーの児童・生徒数が増加傾向にあります(図)。こうした食物アレルギーに対応する給食を希望される場合、主治医が記載する「学校生活管理指導表」をもとに、保護者と学校が個別に面談し、アレルギー対応委員会が具体的な対応を決めています。

食物アレルギーは、症状が一人ひとり異なるうえ、その日の体調によって発症する場合があります。学校給食では、より安全で安心できる学校生活を過ごせるように、次の取組を進めます。

### アレルギーの原因となる食物の除去を強化します

- アレルギーの原因となる食物は、少量なら食べることでのお子さんの場合でも安全性を考慮し、量にかかわらず除去します。
- 食品の加工段階や調理によって抗原性(アレルギーの起こりやすさ)が変化しやすいもの、原因食物がごく少量含まれている調味料や油脂については、公的機関のガイドラインなどを参考に対応します。

※除去する食品が多岐にわたる場合や、アナフィラキシー(全身性の急性アレルギー反応)が頻繁に起こっている場合などは、安全性を最優先して、家庭でお弁当を用意していただくこともあります。



### アレルギー対応委員会とは

校長(副校長)・栄養職員・養護教諭・学級担任・給食担当教諭・調理員等で組織している委員会で、各学校のアレルギー対応について校内体制を整えています。

#### 〈主な役割〉

- ・学校の実状に合わせた、児童・生徒ごとのアレルギー対応の検討と決定
- ・アレルギー対応の情報の共有
- ・緊急時の教職員の役割分担の明確化
- ・校内研修の実施
- ・緊急時対応のシミュレーション訓練の実施など

### アレルギー対応食専用の食器とトレイを導入します

○色やデザインを変えたアレルギー対応食専用の食器やトレイを使うことで、本人だけでなく誰もが、アレルギー対応食の提供を確認することができます。これにより、誤配などの事故を未然に防いでいきます。(26年3月導入予定)



問合せ: 学務課保健給食係

# 子どもたちへの思いをつなぐ 輪 和 〇

子どもたちの学びの場は、学校や家庭、地域などにあり、それぞれが重要な役割を担っています。しかし、学校や家庭での教育が具体的にイメージしやすいのに対し、地域の教育力は、つかみどころがないと思われる方も多いのではないのでしょうか。地域の教育力は、東京都生涯学習審議会答申において、「大人や同年齢・異年齢の友人たちとの日常的な交流や様々な体験を通じて、働くことの意味や文化、社会慣習そして生活習慣等を身につけてきた」と定義されています。教育委員会では、地域の教育力を高めていくために、様々な取組をしています。

問合せ：学校支援課

## 高円寺を地域教育推進協議会の新たなモデル地区に

地域教育推進協議会は、各中学校区の地域教育連絡協議会の成果を生かし、子育てや教育の課題を地域の課題とし、地域住民が主体的に取り組むネットワーク組織です。天沼中学校区に続き、今年度、高円寺駅から南北に広がる高円寺地区を2つ目のモデル地区として選定しました。モデル地区選定のきっかけとなったのは、内閣府のモデル事業「高円寺地域ネットワーク化によるまちづくり協議体」の活動でした。高円寺をもっと魅力的なまちにしたいと考える子育て世代が中心となり、アンケートや懇談会を行い、地域の課題を広報紙で発信してきました。また、活動の中で、空き店舗をまちづくりに役立てたいという声があり、現在、コミュニティスペースとして活用されています。今後は、組織の愛称公募などを予定しています。

子どもたちの学びの場を考える取組は、大人自身が地域の課題を見つけ、解決への行動を起こす機会につながっています。



©「Voice of KOENJI No.3」より

## 『あなたの地域の教育力を高める8つのヒント』を発行

地域の教育力はどうしたら高まるのか？そんな疑問から、冊子づくりがはじまりました。作成にあたっては、青少年委員の協力のもと、委員が日頃感じていることを集約し、内容を協議してきました。その中で、地域の教育力向上に必要なのは、ノウハウではなく、心の持ち方次第ではないかという意見が出ました。

冊子には、「はじまりは意外なきっかけ」、「もったいないことが、まちにはいっぱい」、「なかま」を増やそう」など、心の持ち方を少し変えてみる前向きな提案が並んでいます。後半には、地域の教育力について考えてみる情報を掲載しています。編集にあたった青少年委員からは、「『地域の子どもたちのために』との思いは同じです。この冊子がその思いを行動に変え、地域に広げていく手助けになればと願います。」とのコメントが寄せられています。

多くの区民の力をつなぎあわせていくきっかけとして、ぜひご活用ください。



冊子は窓口で配布しています

# CAMOプロジェクト

～働く20代・30代の若者が地域の人とコラボレーション！～



高円寺部オリジナルキャラクター「kobuちゃん」

CAMOプロジェクトとは、若者が杉並を大きなキャンパスと捉え、自分たちで活動を考え、展開している大人の部活動です。5つの部が、「人と人との繋がり」をテーマに活動しています。



絵本のテーマは、物事の「おわり」と「はじまり」

## 高円寺に住む小学生 × 高円寺部の若者

高円寺部は、7月～9月に「きみの絵を絵本にしたい！～絵をかくてくれる小学生大募集～」と銘打って、高円寺地域の小学生とともに絵本を作る講座を3回開催しました。

絵本のタイトルは『おわりのはじまり』で、高円寺部のキャラクター、kobuちゃんのオリジナルストーリーになっています。このストーリーを聞いて、頭に浮かんだ場面を小学生に描いてもらいました。小学生の柔軟な発想で描かれた絵は、ストーリーを超えて、読み手の想像の幅を広げることができる内容となりました。

完成した絵本は、高円寺図書館に寄贈されました。どなたでもご覧いただけますので、一度足を運んでみてください！

## 杉並浴場組合 × 銭湯部の若者

10月3日に、杉並浴場組合主催、銭湯部協力という形で、「銭湯展」を開催しました。

銭湯部では、「杉並区内の銭湯のご主人に聞きました！」をテーマとした展示と来場者へのアンケートを行いました。アンケートでは、「どんな銭湯が理想ですか？」など、部員が考えた質問も取り入れています。

これらの発想は、「銭湯部」が、地域に一步踏み出し、若者の視点で杉並浴場組合と話し合いを重ねた結果、生まれたものです。「若者と地域との繋がり」が、銭湯にあまりなじみがない人にとっても楽しめる「銭湯展」を作り上げました。



区役所ロビーでの展示の様子

問合せ：社会教育センター ☎03-3317-6621



十三夜のお月見飾り

# 年中行事「十三夜」 古民家で楽しむ 十三夜のお月見ナイト

郷土博物館本館では、昭和初期ごろまで行われていた杉並の農家の年中行事を毎月紹介しています。

10月は「十三夜」で、博物館にある古民家にススキやだんご、野菜などを飾り、農家の昔ながらのお月見飾りを再現しました。

10月14日には、博物館では16年ぶりになる夜のイベントとして「古民家で楽しむ十三夜のお月見ナイト」を開催しました。当日は、会場である古民家で満員の中、学芸員による行事解説や上井草のお宅で十五夜・十三夜に食べられている行事食としての「芋がらと豆腐のおつゆ」を作り提供しました。また、古民家の夜の暗さを体感するため行灯（あんどん）や蠟燭（ろうそく）の灯りの中、落語家・柳家小団治さんによる行事食の豆腐にちなんだ落語を楽しみました。

問合せ：郷土博物館本館 ☎03-3317-0841



落語会の様子

# 高円寺地域の特性を生かした魅力ある学校を目指して

教育委員会では、11月に「高円寺地域における新しい学校づくり計画」を策定しました。この計画は、義務教育9年間を通した一貫性のある教育の充実を図るとともに、学校の活性化につながる適正規模を確保して、より質の高い教育活動を実践することを目的としています。今後はこの計画に基づき、未来を担う児童・生徒が健やかに育つ学校となるよう、地域の方々とともに取り組んでいきます。

**開校予定時期** 平成31年4月

**開校場所** 現在の高円寺中学校の校地

**対象校** 杉並第四小学校、杉並第八小学校、高円寺中学校

**今後の進め方**

校長、保護者、学校関係者、地域関係者等で構成する「新しい学校づくり協議会」を設置し、教育内容や校名など開校に向けた課題について協議の上、決定します。

協議内容は教育委員会ホームページや協議会ニュースの発行により、適時お知らせします。

計画の全文は、区及び教育委員会ホームページのほか、学校支援課(区役所東棟6階)、区政資料室(区役所西棟2階)、図書館でご覧になれます(各閲覧場所の休業日を除く)。



新校は、小・中学校の施設、組織・運営を一体化し、児童・生徒、教職員が同一の敷地・校舎で学校生活を共にしながら、義務教育9年間を通した教育活動を行う学校となります(施設一体型の小・中学校)。

## 開校までのスケジュール(予定)

25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		児童・生徒・教職員の交流				開校
			新しい学校づくり協議会			
			改築等設計	建設工事		校庭整備

問合せ: 学校支援課



## 不用品が一期一会を創り出す ~桃井第四小学校~

11月9日、桃井第四小学校で、「0円均一」を開催しました。これは、出店者が家庭の不用品を段ボールに入れ、購入者がその中から欲しい物を自由に持っていくイベントです。「0円均一」は、5年ほど前に美術家の高島亮三さんが考案し、自宅の軒先で出店を始めました。その後、地元や近隣地域に呼びかけたことがきっかけで、同校でも3年前より「トロールの森」野外アート展のワークショップとして取り組んでいます。

当日、同校のグラウンドには、児童・保護者や地域の方から提供された段ボール70個を超える品が並び、120組ほどの買い物客が集いました。どのような物が出品されているのか、期待に胸をふくらませている様子の中、校長先生の合図でスタートしました。本や服、おもちゃ、食器など様々な物が出品されており、子どもも大人も持参したバックの中にお目当ての物を詰めていました。

「0円均一」は、誰でも簡単に商うことのできる個人商店です。なかなか捨てることのできなかった愛着ある物を段ボール箱に入れ、「どうぞご自由にお持ち下さい」とメッセージを付ければ出店できます。同校では、イベント後、20日間ほど、自店に残った不用品などを児童宅の玄関前で出品しました。このイベントを通じて、家庭に眠っていた不用品が、学校や地域の中での新たな出会いを生み出していました。



家庭での不用品が、誰かのお気に入りになるかも!

## 教育委員の活動を紹介します

10月2日、折井委員が、教員を対象に英語教育について講演しました。

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、日頃から学校等にも足を運び、教育活動の視察や意見交換などを行っています。そうした教育委員の活動を順次紹介していきます。



区では、教育水準の向上を目的に「杉並教育研究会」を組織し、教育に関する研修を中心に、20を超える部会が活動しています。小中一貫教育の視点で、小学校英語活動部と中学校英語部が合同研究会を開催し、早稲田大学教育学部英語英文学科 准教授である折井委員が「杉並区の小・中学生に望む英語力について」という演題で講演しました。

英語学習における自律的な学習態度育成の重要性についてまずお話ししました。生徒自身がCan-doリスト等を活用して目標を立て、学習方法を工夫しながら経過を観察し、うまくいかなかったときには自ら解決方法を考えることが、英語だけではなく、学習力そのものの向上につながると考えられています。これは、杉並区教育ビジョン2012の「育みたい力」「自ら学び、考え、判断し、行動する力」そのものと言えます。

また、小・中の連携について、大学での研究分野である音声指導(リスニング・発音)の立場からお話ししました。小学校での外国語活動が本格化し、積極的にコミュニケーションを取りたいという児童の高い意識が、中学校での英語学習に生かされるよう、微力ではございますが、今後も応援していきたいと思っております。 —折井委員から—

### ペン知る 教育委員会の動き(25年9月~25年11月)

教育委員会は、毎月第2・4水曜日に開催され、必要に応じて臨時会を開催しています。

【教育委員会開催状況】 定例会 5回 臨時会 4回 議案 14件 報告事項 21件 協議事項 2件

【主な案件】 ○は議案、●は報告事項、●は協議事項

- 杉並区立小中学校新しい学校づくり推進基本方針(案)について
- 杉並区立施設再編整備計画(第一期)第一次実施プラン(素案)について
- 指導教諭の導入について
- 「あなたの地域の教育力を高める8つのヒント」の発行について

- 子供園における給食提供の試行実施について
- すぎなみ教育シンポジウムの開催について
- 特別支援教育の施設環境整備について
- 杉並区小中一貫教育基本方針の改定について